

様式 C - 7 - 1

平成28年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号

6	4	3	0	2
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 国際日本文化研究センター

3. 研究種目名 基盤研究(A)（一般） 4. 研究期間 平成28年度～平成30年度

5. 課題番号

1	6	H	0	1	9	1	9
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 「うつわ」と「うつし」：情報化時代の複製技術・藝術の美的範疇刷新にむけて

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 2 0 3 1 9 5	イナガ シゲミ 稲賀 繁美	研究部	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
1 0 3 2 3 5 6 0	ミハラ ヨシアキ 三原 芳秋	一橋大学・大学院言語社会研究科	准教授
2 0 5 8 6 3 4 1	ホリ マドカ 堀 まどか	大阪市立大学・大学院文学研究科	准教授
7 0 7 1 3 9 8 1	ウド サトシ 鶴戸 聡	鹿児島大学・法文教育学域法文学系	准教授
8 0 4 6 9 6 1 8	クラタ タカシ 鞍田 崇	明治大学・理工学部	専任准教授
9 0 3 5 1 3 6 1	オオニシ ヒロシ 大西 宏志	京都造形芸術大学・芸術学部	教授

9. 研究実績の概要

1. 共同研究会を4回実施し、「うつわとうつし」の概念について参加者の共通理解を基礎づけた。とりわけ物質と精神とのあいだの「霊性」の東西のはざまでの交流、「右」と「左」との「あいだ」即ち「対掌性」、「右巻き」と「左巻き」、「渦巻き」と「螺旋」、さらには「裏」と「表」、「受動」と「能動」のあいだにある「中動態」にいたるまで、それぞれの領域の専門家を招聘し、自然界から言語学、認識論を横断する議論を深めた。黒田玲子、金子務、森田亜紀、三木順子、アグネシカ・コズィラ、山崎佳代子ほかの報告を得た。

2. 「合法性」と「違法性」のあいだ、そのあいだの移行とその媒体をめくり「海賊」的存在に関する考察を集約した。具体的には「海賊概念の検討」を目的とする国際研究集会を催し、前回の科学研究費補助金事業を集約するとともに、「うつわとうつし」研究事業への接続を図った。その研究成果報告書を『海賊史観からみた世界史の再検討』として2017年2月に刊行した。これは今回の「うつわとうつし」の基礎をなす研究成果である。

3. 研究代表者は台北で開催された「タイペイ・ピエンナレ」に基調講演者として招聘され、Haptic Sensations beyond Visual Cultureと題した英語講演を行ない、「うつわとうつし」に関連する接触感覚について知見を述べた。また同じ台北で開催された「国際デザイン史・デザイン研究学会」総会に基調講演者として招聘され、Toward Social Design in the Era of Globalizationと題する英語講演により、社会の器と情報の写し=移しについて提言を行った。前者は台北国立近代美術館の紀要に中国語訳が掲載された。

10. キーワード

(1) 情報	(2) 複製	(3) 美的範疇	(4) 器
(5) うつし	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの進捗状況

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

初年度としては計画どおりに共同研究会を実施し、また基礎固めの成果刊行も成就している。また研究代表者・研究分担者を含め、2年次にむけての準備作業も順調である。
初年度には、国際日本文化研究センターを会場として共同研究会を6回実施した。計画に沿って研究分担者に応じ、A「情報」B「枠組」C「インドラ網」D「輪廻転生」E「接触界面」それぞれについて関連文献の調査、専攻研究の検討など予備的な作業を進めた。領域を超えた討論を重ねた結果、欧米と日本とでは、「うつし」と「うつわ」に関する基礎的な概念と語彙についてなお共通理解が成立しておらず、引き続きの討論、研究が必要なが判明した。

12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

2年目にあたる本年度は、各班を横断して、いくつかの具体的計画を実現する。

1) 2018年にロンドンでの実現を計画している「うつわとうつし」展示およびシンポジウムの準備として、2017年5月に英国オックスフォード大学で、予備的な研究会・講演会を開催し、英国側の研究者との意見交換の機会とする。あわせてオックスフォード大学に設けられた日本式の「穴窯」を実地検分し、来年度以降の実際の活用への準備とする。2) 引き続き、共同研究会を4回開催し、これに並列して可能な範囲で海外および国内からの研究協力者の招聘により、各分科会の主題にそった研究をすすめ、意見を交換する。3) 来年度に予定する国際研究集会を視野にいれた成果中間とりまとめの準備に入る。4) 研究会の成果発表を受け、3年次終了時に予定する研究報告論文集の企画に着手する。5) 研究代表者は、スリジー国際文化センターでの研究発表およびウィーン大学への招聘講演において、研究の構想を公表し、批判を仰ぐとともに国際的workshopとして活用する。

13. 研究発表（平成28年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（30）件 / うち査読付論文 計（6）件 / うち国際共著論文 計（2）件 / うちオープンアクセス 計（12）件

著者名	論文標題				
稲賀繁美	和辻哲郎『風土』成立の時空と欧州航路：歴史的偶然と地理的必然との交差において				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
欧州航路の文化誌：寄港地を読み解く	無	-	2017	183-217	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている（また、その予定である）					

著者名	論文標題				
稲賀繁美	超越視覚文化的觸覚感知：重新定義博物館學中的數位化的全球尺度模型 Haptic Sensations Beyond Visual Culture: Redefining "Modernity" in Museology so as to Readjust the Digitized Global Scale Model "				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
現代美術 MODERN ART 北雙特刊 TAIPEI BIENNAL 2016	無	第183号	2016	62-75	該当する
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている（また、その予定である）					

著者名	論文標題				
稲賀繁美	去勢・不能から瞬時性と輪廻転生、さらには可能世界の濃度計測へ：脱戦後日本美術に関する断片的な覚書（後）				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
あいだ	無	229号	2016	23-29	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている（また、その予定である）					

（課題番号：16H01919）

（注）・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

著 者 名		論 文 標 題				
稲賀繁美		去勢・不能から瞬時性と輪廻転生、さらには可能世界の濃度計測へ：脱戦後日本美術に関する断片的な覚書（前）				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
あいだ		無	228号	2 0 1 6	22-26	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている（また、その予定である）						

著 者 名		論 文 標 題				
稲賀繁美		幽霊の蘇生：お化けをいかにしてよみがえらせられるか？：全球的な知覚から近代性を問い直す：モダニティーを振り返って再定義し、デジタル化されたグローバル尺度モデルを修正する（後）				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
あいだ		無	227号	2 0 1 6	14-21	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている（また、その予定である）						

著 者 名		論 文 標 題				
稲賀繁美		「私」と「わたし」が出会うとき：あるいは双子の幽霊・輪廻転生説と複数字宙論から				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
国立国際美術館ニュース		無	214号	2 0 1 6	2-3	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている（また、その予定である）						

著 者 名		論 文 標 題				
稲賀繁美		幽霊の蘇生：お化けをいかにしてよみがえらせられるか？：全球的な知覚から近代性を問い直す：モダニティーを振り返って再定義し、デジタル化されたグローバル尺度モデルを修正する（前）				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
あいだ	無	226号	2 0 1 6	18-27	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている（また、その予定である）						

著 者 名		論 文 標 題				
稲賀繁美		【書評】 うつし（現・映・写・移・遷）と うつくし の形而上学にむけて：国学的言霊論と欧州古代触覚感性論との哲学的遭遇 山下善明著『美とうつくしさ：あるがまま についての思索』（晃洋書房 2016年）				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
図書新聞	無	3249号	2 0 1 6	-	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている（また、その予定である）						

著 者 名		論 文 標 題				
三原芳秋		生命在焉 - 駒込武著『世界史のなかの台湾植民地支配』を文弱の徒が読んでみる、ならば				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
クアドランテ [四分儀] 地域・文化・位置のための総合雑誌	有	19	2 0 1 7	69-76	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている（また、その予定である）						

著 者 名		論 文 標 題				
堀 まどか		韓国における日本現代詩の受容と共感 茨木のり子を中心に				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
日本語文学（韓国日本語文学会）	有	74	2 0 1 6	271-286	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている（また、その予定である）						

著 者 名		論 文 標 題				
鵜戸 聡		小さな文学にとって 世界文学 は必要か？				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
文学	無	17- 5	2 0 1 6	149-167	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
Satoshi Udo		Presence maghrébine au Japon: Contextes historiques de traduction et d'interprétation				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Expressions maghrébines	有	15-1	2 0 1 6	187-197	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		堀口捨己が見た建築における「常滑的なもの」				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
とこなめ陶の森 研究紀要	無	1	2 0 1 7	13-44	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		私の見方の哲学				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	444号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		裸の、馬鹿な、ひとりよがりのものさし 古道具坂田の場合				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	443号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		ヤッパリ、民藝？				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
西日本のうつわと食をめぐる 手仕事旅行	無	-	2 0 1 6	98-101	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		誰だって夢なんか見ていない 柳宗悦の場合 (補遺)				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	442号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		茶器にまさる「茶器」を求めて 柳宗悦の場合 (中編)				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	440号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		自由な、健全な、「もつと深くしたもの」へ 柳宗悦の場合（前編）				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	439号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		生活は「常ノ事」なり 生活工芸の場合（後編）				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	438号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		ふたたび『たいようの下で』 生活工芸の場合（中編）				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	437号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
鞍田 崇		『正しさ』では人は動かない 生活工芸の場合（前編）				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
なごみ	無	436号	2 0 1 6	96-99	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
江口久美		フランスの地区評議会による住民参加型まちづくり				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
決断科学	無	第三号	2 0 1 7	95-104	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
江口久美、小出純子、河野康治		京都市中心部における家庭用防空壕の分類について				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
日本建築学会近畿支部研究報告集	無	計画系(56)	2 0 1 6	641-644	-	
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題				
江口久美		グルノーブル市の地区連合に関する研究				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
日本建築学会大会学術講演梗概集		無	F-1	2 0 1 6	641-642	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題 【掲載確定】				
FAN LIYA		Chinese Painting through "Japanese Eyes" : with Special Reference to Laurence Binyon 's Understanding and Misunderstanding of Chinese Painting				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
The Proceedings of the 34th World Congress of Art History " (Tentative), held by Organizing Committee of the 34th World Congress of Art History, Peking University and the Central Academy of Fine Arts		有	印刷中	2 0 1 8	印刷中	該当する
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著 者 名		論 文 標 題 【掲載確定】				
範 麗雅		蒋彝の1930年代の英国での文筆活動 『中国の眼』の出版をめぐる				
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
アジア地域文化研究		有	第13号(印刷中)	2 0 1 7	印刷中	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

著者名	論文標題【掲載確定】				
NEGAWA, Sachio	Uma mistura de Brasil e Manchuria: Globalizacao da familia moderna japonesa vista por meio da historia da Familia Sakiyama				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Anais do IX Congresso Internacional de Estudos Japoneses do Brasil	有	印刷中	2 0 1 7	印刷中	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著者名	論文標題				
朴 美貞	田辺孝次と朝鮮美術工芸				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
鹿島美術研究	無	年報第33号	2 0 1 6	447-457	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている(また、その予定である)					

著者名	論文標題【掲載確定】				
多田伊織	小島宝素堂始末 その6 善本の世界へようこそ インターネットで医書を読む				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
医薬の門	無	57-2(印刷中)	2 0 1 7	印刷中	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

〔学会発表〕 計(32)件/うち招待講演 計(17)件/うち国際学会 計(15)件

発表者名		発表標 題	
Shigemi INAGA		Heritage Management as an Act of Compensation	
学 会 等 名		発表年月日	発表場 所
International & Transdisciplinary Symposium on Advanced Future Studies Beyond Boundaries: Exploring the Creative Evolution of Transdisciplinary Studies (招待講演) (国際学会)		2017年02月08日	京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール(京都府・京都市)

発表者名		発表標 題	
Shigemi INAGA		Toward a Social Design in the Era of Globalization: A New Task of the Design History	
学 会 等 名		発表年月日	発表場 所
ICDHS (The International Conference on Design History and Design Studies) (招待講演) (国際学会)		2016年10月27日	台北(台湾)

発表者名		発表標 題	
Shigemi INAGA		The panelists for the roundtable: Trans/national ' design histories and practices in the 21st century	
学 会 等 名		発表年月日	発表場 所
ICDHS (The International Conference on Design History and Design Studies) (招待講演)		2016年10月26日	台北(台湾)

発表者名		発表標 題	
稲賀繁美		海賊史観からみた世界史500年: 『文明の海洋史観』の裏側を覗く	
学 会 等 名		発表年月日	発表場 所
第9回日文研・アイハウス連携フォーラム		2016年10月14日	国際文化会館(東京都・港区)

発表者名	発表標 題	
Shigemi INAGA	Haptic Sensations Beyond the Visual Culture: Redefining "Modernity" in Museology so as to Read just the Digitalized Global Scale Model	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
台北ビエンナーレ	2016年09月11日	台北(台湾)

発表者名	発表標 題	
稲賀繁美	海賊史観からみたコピー文化の再検討：日本のデザインは何をめざすのか	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
総合デザイナー協会	2016年06月11日	グランフロント大阪・ナレッジサロン(大阪府・大阪市)

発表者名	発表標 題	
稲賀繁美	道・無框性・滲み：「日本美学における あいだ 」	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
日文研共同研究会：多文化間交渉における「あいだ」の研究 2016年度第2回研究会	2016年05月28日～ 2016年05月29日	国際日本文化研究センター(京都府・京都市)

発表者名	発表標 題	
稲賀繁美	稲賀繁美『接触造形論』(名古屋大学出版会、2016)をめぐって	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第227回日文研木曜セミナー	2016年05月26日	国際日本文化研究センター(京都府・京都市)

発表者名	発表標 題	
Shigemi INAGA	Pirate's View of World History toward Possible Re-orientations	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
International & Transdisciplinary Symposium on Advanced Future Studies Beyond Boundaries: Exploring the Creative Evolution of Transdisciplinary Studies (招待講演) (国際学会)	2016年04月27日 ~ 2016年04月29日	国際日本文化研究センター(京都府・京都市)

発表者名	発表標 題	
Shigemi INAGA	Passage, Rahmenlosigkeit, Blotting Effect: Reflections on the 《Japanese-ness》 in Art	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
国際イメージ学シンポジウム・フンボルト・コレーク：思考手段と文化形象としてのイメージ：アビ・ヴァールブルクから技術的イメージ・図像行為まで (招待講演) (国際学会)	2016年04月09日 ~ 2016年04月10日	東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE(東京都・目黒区)

発表者名	発表標 題	
三原芳秋	The Invention of "Japanese" Literature in Colonial Korea, or how shame-less literary engagement could be under colonial conditions	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
思勉人文講座 338 (招待講演) (国際学会)	2017年03月17日	上海(中国)

発表者名	発表標 題	
堀 まどか	境界者の文芸と民族独立の運動 サロジニ・ナイドゥを中心に	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
国際研究集会「近代と秘境的ネットワーク：神智学、芸術、文学、政治」(国際学会)	2017年03月08日	国立民族学博物館 (大阪府・吹田市)

発表者名	発表標 題	
堀 まどか	帰還者による戦後文学のなかの「鎮魂」 石原吉郎、甲斐弦、小林勝を考える	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
「鎮魂と戦争」共同研究会	2017年01月06日	国際日本文化研究センター（京都府・京都市）

発表者名	発表標 題	
堀 まどか	International Conflict or Asian Solidarity? : Tagore and Noguchi	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
International Conferece on 'Tagore and Japan and Various Aspects of Japan and Her Culture' (招待講演) (国際学会)	2016年08月26日	シャンティニゲタン(インド)

発表者名	発表標 題	
堀 まどか	野口米次郎とタゴール、その詩学と使命	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第113回全国大学国語国文学会60周年記念大会	2016年06月05日	青山学院大学青山キャンパス(東京都・渋谷区)

発表者名	発表標 題	
鵜戸 聡	小文学礼賛、あるいはなぜ外国小説を読むのかについての新たな問い	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第24回全伯日本語・日本文学・日本文化学会 / 第11回ブラジル日本研究国際学会 (XXIV ENPULLCJ/XI CIEJB) (招待講演) (国際学会)	2016年09月23日	マナウス(ブラジル)

発表者名	発表標 題	
鞍田 崇	いまなぜ民藝か	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
兵庫県民芸協会勉強会	2017年02月26日	MINT TERRACE (兵庫県・神戸市)

発表者名	発表標 題	
鞍田 崇	アーバニズムに向かうケーススタディ：P A C	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
明建シンポジウム「建築・都市学の誕生 学際的協働が描く "Urbanism" の姿」(招待講演)	2016年12月10日	明治大学生田キャンパス (神奈川県・川崎市)

発表者名	発表標 題	
鞍田 崇	暮らしと祈りをめぐる旅	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
「近江 暮らし 遺産」MUSUBU SHIGA 空想 MUSEUM - 近江かたちを明日につなぐ - トークイベント (招待講演)	2016年11月19日	成安造形大学 (滋賀県・大津市)

発表者名	発表標 題	
鞍田 崇	いとおいしい食卓	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
『食の未来を考える週末』アーツ前橋企画展「フードスケープ 私たちは食べものでできている」関連シンポジウム (招待講演)	2016年10月22日	アーツ前橋 (群馬県・前橋市)

発 表 者 名	発 表 標 題	
鞍田 崇	いまなぜ民藝か - 素であること、その後	
学 会 等 名	発 表 年 月 日	発 表 場 所
企画展「いわみもの～暮らしを形づくる石見のやきもの」特別講座（招待講演）	2016年09月11日	島根県立出雲古代歴史博物館（島根県・出雲市）

発 表 者 名	発 表 標 題	
鞍田 崇	いまなぜ会津塗りが 素であること、その後	
学 会 等 名	発 表 年 月 日	発 表 場 所
会津漆器共同組合青年部 講演会（招待講演）	2016年06月24日	会津若松ワシントンホテル（福島県・会津若松市）

発 表 者 名	発 表 標 題	
江口久美	グルノーブル市の地区連合に関する研究	
学 会 等 名	発 表 年 月 日	発 表 場 所
日本建築学会大会	2016年08月24日	福岡大学(福岡県・福岡市)

発 表 者 名	発 表 標 題	
江口久美、小出純子、河野康治	京都市中心部における家庭用防空壕の分類について	
学 会 等 名	発 表 年 月 日	発 表 場 所
日本建築学会近畿支部	2016年06月26日	大阪保健医療大学（大阪府・大阪市）

発表者名	発表標 題 【発表確定】	
範 麗雅 Fan Liya	Taki Sei-ichi瀧精一 and The Kokka《國華》: Promoting Chinese Art to Western Connoisseurs	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
International Art Periodicals Symposium: "It Begins with a Story: Artists, Writers, and Periodicals in Asia" (招待講演) (国際学会)	2018年01月11日 ~ 2018年01月13日	香港(中国)

発表者名	発表標 題 【発表確定】	
範 麗雅 Fan Liya	ロバート・ファン・ヒューリックの中国古典書画研究と中国両国文人・書画家との交流: Chinese Pictorial Art as Viewed by the Connoisseurを中心に	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
国際学術シンポジウム「浙江と東アジア 新史料と新視点」(招待講演) (国際学会)	2017年10月28日 ~ 2017年10月31日	杭州市(中国)

発表者名	発表標 題	
範 麗雅 Fan Liya	Chinese Painting through "Japanese Eye": with Special Reference to Laurence Binyon's Understanding and Misunderstanding of Chinese Painting	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
The 34th World Congress of Art History (国際学会)	2016年09月20日	北京市(中国)

発表者名	発表標 題	
範 麗雅	英国の風景を描いた二人の東洋人画家・随筆家 牧野義雄と蒋彝	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
日本比較文学学会第78回全国大会	2016年06月19日	東京大学駒場キャンパス(東京都・目黒区)

発表者名	発表標 題	
範 麗雅 Fan Liya	Chinese Diplomat and the International Exhibition of Chinese Art in London, 1935-36: From Proposal to Implementation	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
The 50th International Research Symposium “ ‘ Pirates ’ View of World History toward Possible Re-orientations ” (海賊史観からみた世界史の構築) (招待講演) (国際学会)	2016年04月28日	国際日本文化研究センター (京都府・京都市)

発表者名	発表標 題	
Takako KONDO	Questioning Transparency: On Translation and Contemporary Japanese Art in World Art History	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
CIHA 2016 Beijing The 34th World Congress of Art History (国際学会)	2016年09月16日	北京市 (中国)

発表者名	発表標 題	
NEGAWA, Sachio	Uma mistura de Brasil e Manchuria: Globalizacao da familia moderna japonesa vista por meio da historia da Familia Sakiyama	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
IX Congresso Internacional de Estudos Japoneses do Brasil (招待講演) (国際学会)	2016年09月21日	アマゾンズ連邦大学 (UFAM) (マナウス・ブラジル)

発表者名	発表標 題 【発表確定】	
Iori NAGASE TADA	Ogai Mori(1862 - 1922)'s conversion from modern hygienic to Kanpo, Japanese traditional medicine in his last years	
学 会 等 名	発表年月日	発表場 所
9th International Congress on Traditional Asian Medicines (ICTAM IX) (国際学会)	2017年08月04日 ~ 2017年08月12日	キール (ドイツ)

〔図書〕 計(7)件

著者名	出版社		
稲賀繁美(編・著)、多田伊織、近藤貴子、三原芳秋、鶴戸 聡、大西宏志、他30名	思文閣		
書名	発行年	総ページ数	
海賊史観からみた世界史の再構築：交易と情報流通の現在を問い直す	2 0 1 7	814	

著者名	出版社		
藤森 清、高橋 修、佐藤秀明、日高佳紀、中村三春、松澤和博、関口安義、山崎一穎、中山弘明、山田有策、木股知史、瀬崎圭二、五味淵典嗣、吉田司雄、堀 まどか、大東和重、中根隆行、田口律男、岩淵宏子、飯田祐子、光石亜由美、清水康次、宗像和重、大塚常樹、勝又 浩、宮川健郎	ひつじ書房		
書名	発行年	総ページ数	
ハンドブック 日本近代文学研究の方法	2 0 1 6	254 (138-145)	

著者名	出版社		
臼杵 陽、鈴木啓之、鶴戸 聡、他52名	明石書店		
書名	発行年	総ページ数	
パレスチナを知るための60章	2 0 1 6	394 (183 - 187)	

著者名	出版社		
住友文彦、鞍田 崇、森岡祥倫、原田信男、石倉敏明、稲葉俊郎	アノニマ・スタジオ		
書名	発行年	総ページ数	
フードスケープ - 私たちは食べものでできている	2 0 1 6	168(12-15)	

著 者 名		出 版 社	
鞍田 崇		明治大学環境人文学研究室	
書 名		発行年	総ページ数
『物言わぬ、物 たとえば、「若松鶴模様 吸物椀 四拾人前」』記録集		2 0 1 6	12

著 者 名		出 版 社	
根川幸男		みすず書房	
書 名		発行年	総ページ数
ブラジル日系移民の教育史		2 0 1 7	648

著 者 名		出 版 社	
朴 美貞、長谷川 伶		えにし書房	
書 名		発行年	総ページ数
日本帝国の表象 生成・記憶・継承		2 0 1 6	326 (3-326)

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計（ 0 ）件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究： -

17. 備考

稲賀繁美研究室

<http://www.nichibun.ac.jp/~aurora/inaga/>